

## ゲームのすすめ方（要約版）「ゼロサムゲーム」

### ●チーム編成と役割の設定

1. 受講生を5～7人のチームに分け、各チームに世話役の人を設ける。
2. 世話役の人は、教材の配布や回収、ゲーム終了後のふり返りの司会を務めるほか、必要に応じて話し合いの結果をレポートする。

### ●場所の設定

1. 机を組み合わせて「島」を作り、チームメンバーは「島」を取り囲むように座る。

### ●教材の準備

1. 「+」「-」「○」の記号が入った特製カードが教材となる。

注： 赤い「+」が1つあるカードはプラス1、「+」が2つあるカードはプラス2、  
青い「-」が1つあるカードはマイナス1、「-」が2つあるカードはマイナス2、  
黒い「○」が中央にあるカードはゼロを意味する。

2. 講師は、下記のとおりチームの人数にあわせた教材を準備する。（→各チームの世話役に渡す）

【7人の場合】	赤い「+」のあるカード： 1～10の10枚 青い「-」のあるカード： 1～10の10枚 黒い「○」のあるカード： 1枚	<合計21枚（フルセット）>
【6人の場合】	赤い「+」のあるカード： 1～9の9枚 青い「-」のあるカード： 1～9の9枚	<合計18枚>
【5人の場合】	赤い「+」のあるカード： 1～7の7枚 青い「-」のあるカード： 1～7の7枚 黒い「○」のあるカード： 1枚	<合計15枚>

### ●すすめ方

- ✓ 世話役はカードをよく切ったうえで、各メンバーに3枚ずつ配ること
- ✓ 各メンバーは、カードを表向けにして、他の人によく見えるように自分の前にそろえて並べること

#### <学習のねらい>

チーム行動での協力、協調のために大切なことは何かを、体験を通じて学ぶ

#### <チーム作業の目標>

全員±0となるように協力し合う。全員が±0になったら、世話役の人は手をあげて講師に報告する

#### <ルール>

1. チーム内での意見交換はOK
2. カードの交換は、誰とでも行ってよいが、必ず1枚対1枚とすること（手元にはつねに3枚のカードがあること）
3. カードの交換は、当事者のみとする。つまり、交換したい人同士が直接交換をすることとし、第三者が他人のカードにふれてはいけない。ただし、口頭で指示や助言することはさしつかえない
4. カードは、はじめに置いた位置から動かさないこと（中央に寄せるようなことはしない）

#### <ふり返りテーマ>

1. この問題処理をうまく行うコツは？
2. このゲームを通して感じたこと、学んだことは？